

第 11 回 SIOFA 年次会合結果概要 (日本トロール底魚協会関連議題)

7月1～5日に韓国ソウルで開催された SIOFA (南インド洋漁業協定) 年次会合に、当協会も出席しました。

1. 底魚漁業管理

メロを含む底魚漁業管理については、デル・カノ・ライズのメロの TAC を 55 トンから 44 トンに変更することが合意されました。

2. 新規保存管理措置

(1) EU から提案のあった「新規・開発漁業管理」に関する新規保存管理措置については、既存漁業の整理が行われ、我が国については、キンメダイ、メロおよびオレンジラフィ어의漁業が既存漁業として認定され、また、我が国のフットプリント (操業海区) がすべて、既存操業海域として認められました。

(2) クック諸島から提案のあった「底生生物保護区の設置」に関する新規保存管理措置については、まずは明年の SC で精査することとなりました。

3. 漁獲戦略

導入が合意されている漁獲戦略については、まずはオレンジラフィ어とメロについて起草を開始することが合意され、2027 年の採択に向けて、検討要目について整理しました。キンメダイについては、これら 2 種の戦略採択後に策定作業を開始する予定です。

4. 次回会合

次回年次会合は、明年 6 月 30 日から 7 月 4 日までモーリシャスで開催されます。なお、次期議長に野村一郎農林水産省顧問 (当協会顧問) が選出されました。